

植物遺伝資源をめぐる 技術革新とビジネスモデル研究会

～オランダに学ぶ植物遺伝資源の探索と産業利用の取組～

2017年8月22日(火)

13:00～16:00 (12:30 受付開始)

会場:三田共用会議所 講堂

定員 200名(先着順)

参加費 無料
(日英同時通訳)

近年の地球温暖化への対応や、今後、国内農業の競争力を抜本的に高め得る画期的な新品種を開発していくためには、その育種素材として多様な遺伝的形質を持つ植物遺伝資源の確保が重要となっています。また、有用性の高い品種開発を戦略的に進めていくため、民間活力を取り入れた研究の促進が求められているところです。

このことを踏まえ、オランダにおける植物遺伝資源の取得や産官学連携の取組について、遺伝資源を利用する関係者で共有し、今後の植物遺伝資源利活用の戦略やビジネスモデルについて検討を加えるため、「植物遺伝資源をめぐる技術革新とビジネスモデル研究会～オランダに学ぶ植物遺伝資源研究と種苗業界の取組～」を開催します。皆さん、ふるって御参加下さい。

13:10～15:00 講演

■ 民間企業との連携を通じた海外植物
遺伝資源の探索について
(講演者: Theo van Hintum 氏)



Theo van Hintum 氏
オランダジーンバンク植物遺伝資源部門長。
CGNやCGIARにおいて勤務し、2016年より現職。
植物遺伝資源の専門家として国際会議に出席する
ほか、CGNと民間企業の連携による遺伝資源
の探索や利用等に取り組む。

■ オランダ種苗協会における植物遺伝
資源の利活用及びアクセスと利益配分
に関する取組について
(講演者: Anke van den Hurk 氏)



Anke van den Hurk 氏
オランダ種苗協会副課長。IPGRIにおいて植物遺伝資源
アソシエイトエキスパートとして勤務し、2001年
より現職。生物多様性、ABS専門家として国際会
議に出席。

15:15～16:00 パネルディスカッション

植物遺伝資源をめぐる技術革新とビジネスモデル

長峰 司 農研機構理事(戦略・評価担当)

寺田 雅一

タキイ種苗(株)
総務部法務課専任課長

奥泉 久人 農研機構遺伝資源センター
主席研究員

Theo van Hintum

オランダジーンバンク
植物遺伝資源部門長

Anke van den Hurk オランダ種苗協会
副課長

<申込方法>

7月24日(月)までに下記からお申し込み下さい。
<https://www.contactus.maff.go.jp/affrc/form/system/170626.html>
定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

<お問い合わせ先>

農林水産省技術会議事務局研究企画課
西川、鈴木
Tel : 03-3502-7436 Fax : 03-3507-8794



東京メトロ南北線「麻布十番」駅下車徒歩5分
駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用下さい。